

みやまの風



寄幼稚園のアクセスカウンタが、950を越えました。皆様のご協力に感謝します。目標 1000!



寄 松田

令和7年5月1日(木)発行 園長 津田 将真

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

寄ランドへようこそ

「園長先生、今日は1名、東京タワーにお出かけするためにお休みします。」

「そうですか、さびしいけど楽しんでくるといいですね。」

そんな会話からスタートした日、子どもたちの登園がほぼ終わり職員室で仕事をしていると外から大きな歓声が聞えてきました。

「わあ〜っ、すご〜い!!!」

何か生き物でも捕まえてきたのかな…、と仕事が途中だったため、職員室に居続けたことが失敗でした。

仕事が一息つき教室へ向かうと、何と子どもたちは全員そろっています。あれっ、一人お休みのはずだったんじゃないっ。

私が来たことに気づいた副園長が、嬉しそうに報告してくれました。

「東京タワーより、幼稚園がいいって言って登園してきました。」

しまった、さっきの歓声はその感動の声か…。

みんなで大喜びしている姿を思い浮かべ、その場にいらなかった無念さが湧き出てきました。子どもたちはみんな、にこにこ。大人もみんなにこにこ。園長も仕方なく、後からにこにこ…。その場にいたかったなあ…。

右の4コマは、その想像です。

みんなを幸せにしてくれるできごとでした。

子どもたちの活動場所のホールに行ってみると、園にくるのをそれだけ楽しみにしている理由がわかりました。そこは正に遊びの宝庫、寄ランドでした。

猫ちゃんのおうち、たこ焼きたい焼き屋さん（猫ちゃんが買いに来ていました）、猫ちゃんアスレチック、そして中央にどんと構える立派なおみこし…。どれを見てもうきうきわくわくするような素敵な場所でした。

子どもたちはその中で自分のなりたいものになりきり、周りの子（猫ちゃん）と関わり合い、一人ひとりの想いや願いが進化（深化）していきます。そして、寄ランドの活動は深みを帯びながら活動場所が広がっていきます。

おみこしを担ぎだした子どもたちは、意気揚々と園外へと進んでいきました。そしてたどり着いた園児の自宅。お家の人々が、にこにこしながら出てきてくれました。

家庭や地域のみなさまを巻き込みながら、寄ランドは更に魅力的な場所になっていきます。

